

さんかく21・Anjo



安城市の「男女共同参画のロゴマーク」ができました！

安城市の花「サルビア」をデザイン。花びらはハート型、全体シルエットは安城の「A」をイメージ。絡み合って上昇する大きさの違う花びらは、幅広い年齢層の男女が手を取り合い、男女共同参画を進める様子を表しています。

(さんかく21・安城の皆さん)

私たちの意思とは

会長 中根 敬子

平和で平等な社会の実現には、上からの意思決定という「統治」ではなく、市民が主体となって政治や暮らしのあり方を決める必要があります。

婦人参政権獲得に尽力し、参議院議員となった市川房枝さんは『権利の上に眠るな』とおっしゃっていたそうです。

権利があっても、それを使わなければ、無いことと同じになってしまい、やがてそれが無くなってしまいます。

「さんかく21・安城」は権利と義務の意識を持って、さらに発信し、活動してまいります。

目次

- * 男性にも女性にも働きやすい職場…………… P 2
株式会社キャッチネットワークを訪問
- * 男女共同参画月間イベント…………… P 3
トーク&シネマ
『ツレがうつになりまして。』を開催しました！
- * 安城市の女性議員と語る会…………… P 3
- * さんかくニュース…………… P 3
男女共同参画推進活動者表彰
神谷香津枝さん
- * 知っていますか？学童保育のこと…………… P 4
- * グループ活動紹介
・ NPO 法人育て上げネット中部虹の会
・ 安城市更生保護女性会
- * 日本女性会議 2016 秋田

《挟み込み》

男性にも女性にも働きやすい職場

地域を愛し、地域からも愛される“オンリーワンのメディア企業”をめざしている

～ 株式会社 キャッチネットワークを訪問 ～

“地域のテレビ局 KATCHの働き方” についてインタビューしました！



●森さん（代表取締役社長）

「地域のすべての方々とつながるために、そして一生のお客様となって頂くために」を目標に、社員が自ら考えて働ける会社を目指しています。

「三方よしの精神で」、合理に基づいて仕事をすることで、お客様から「ありがとう」と言われ、社員は働きがいを感じ、会社も成長します。

●松永さん（代表取締役常務）

社員が活き活きと働き続けられる会社をめざして「意識をかえる、しくみをかえる、ツールを変える」という3つの面で改革をすすめています。



人事制度の改革、フリーアドレス、テレワーク（※）の導入等で、業務効率化を図るとともに社員の成長をサポートすることで、ワークバランスの充実に取り組んでいます。



●天野さん（コーポレート本部長）

仕事柄出張が多く、いつでもどこでも仕事ができるテレワークを活用しています。この制度を取り入れて、出張先でも決裁ができ、意思決定が迅速になり業務の滞りがなくなりました。

●中井さん（つながり課）

男性2人目の育休取得者。妻の出産後、妻の実家がある横浜で出産後の大変な時期にサポートができ、育児の大変さがわかりとても良かったです。今後もテレワーク等会社の制度を活用して妻と一緒に子育てをしていきます。



●野原さん（総務課）

娘が出産で里帰りした時、娘の産後の不安解消のため、フレックス、テレワークを活用して自宅で仕事をしました。育児だけでなく、今後増える介護でも社員が働き続けられるように制度の紹介をしています。



●高井さん（通信課）

3歳の双子の父親です。子どもが生まれてからは、1時間早い17時に帰宅できるようにフレックスを活用しています。育児や家事を妻と分担しイクメンをしています。



インタビューを終えて

社長の森さんが一気に熱く思いを語ってくださったのが印象的でした。

働き方が選べ、どこでも仕事ができる環境は羨ましい限りです。こんな職場で働きたいと思わずにはいられないほど、素敵な会社でした。

株式会社キャッチネットワークは、平成28年11月28日 総務省が選定する「テレワーク先駆者百選」に認定されました。

※テレワーク
会社を離れ、在宅や外出先でパソコン・端末を使ってする就労の仕方
※フリーアドレス
社員が個々に机を持たないオフィススタイル

ツレがうつになりまして。

日 時：平成28年10月23日（日）13:30～

場 所：安城市文化センター マツバホール

参加人数：369人

～第1部～ トーク「つながる力」

ひとりで抱え込まず、心の健康を保ちながら、 自分らしい生き方をするために

- ➡ 困ったときは素直にサポートを受ける気持ちが大事
- ➡ 地域や友人など、外の世界とつながることが大事



～第2部～ シネマ『ツレがうつになりまして。』

うつになった夫を支えるため、周りの人たちとつながっていくことで力をもらい、自分の意志で一步を踏み出す勇気を出す。そして、自分たちらしい生き方を考え、前へ進んでいくという実話に基づくストーリー。

～参加者の感想～

- ・自分の家族や知人にも同じような症例があり、考えさせられるところがたくさんありました。
- ・夫婦の協力はもちろん、周りの人とのふれあひも前向きに生きる力になると感じました。

さんかく21・安城 交流研修会

安城市の女性議員と語る会

日 時：平成28年10月4日（火）13:30～

場 所：安城市民交流センター 2階会議室

出席者：27人



市議会の女性議員4人全員から経験や思いを聞き、「これからの男女共同参画を考えよう」をテーマに語る会開催。議案を通すのに何年もかかった話や、家の中ではまだまだ男女共同参画が行われてない話など、生の声を聞き、現状を知ることができました。

参加者の声

- ・女性議員の苦勞が、少しばかりですが分かりました。女性議員がもっと増えると安城も変わってくると感じました。
- ・この言葉に共感！「女性として何度か山（結婚、出産、子育て、介護）がある」。山を越える女性でありたいと思った。

女性議員や参加者からは、今後も交流の場を設けてほしいという要望をいただきました。

さんかくニュース

男女共同参画推進活動者表彰

受賞者 かみや かつえ
神谷 香津枝さん



安城市長を表敬訪問

10月31日（月）、ウィルあいちにおいて男女共同参画の集いが開催され、神谷香津枝さんが表彰されました。神谷さんは各種市民グループの役員として、イベントの開催や情報誌・記念誌の発行など男女共同参画の推進に尽力されてきました。現在も更生保護女性会、高校の非常勤講師など、多岐にわたる活動で女性の社会進出に貢献されています。

【受賞者のコメント】

いろいろな出会いから、続けてきた事が認められ、驚きと共に大変うれしく思います。

知っていますか？児童クラブのこと

放課後児童健全育成事業（児童クラブ）は、保護者が仕事などで昼間家庭にいない小学校の児童を対象に、遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図る事業です。友達と遊んだり、宿題をしたりして保護者が迎えに来るまで楽しく過ごします。

平成27年4月に、国の「子ども・子育て支援新制度」が施行され、安城市でもこれに基づく「子ども・子育て支援事業計画」がスタートしました。さらに、この新制度で「放課後児童支援員（※）」の配置も義務付けられました。

平成29年度より、公立児童クラブが6年生まで拡充することを知り、現在の状況取材してきました。

※（保育士、社会福祉士などの資格を有し、県の研修を修了した者。児童クラブに2人以上の配置が義務付けられている。）

安城市の児童クラブの変遷

- ・平成4年度 初めての公立児童クラブを北部児童センター内に設置
- ・平成17年度 全ての小学校区に児童クラブを設置(対象:小学3年生まで)
- ・平成27年度 対象学年を小学4年生へ拡充
- ・平成29年度 対象学年を小学6年生まで拡充予定



表1：安城市の児童クラブ

	公 立	民 間
受入状況	43施設 1,705人	5施設 147人
運 営	・安城市が運営 (市内21の小学校で43施設)	・安城市の委託を受け、父母会により共同運営 ・利用条件は無く、全学年が対象 ・各クラブが、それぞれ特色を持つ
新 年 度 申 込 み	・9月15日号の広報あじょうに掲載 ・10月～2月末まで受付 (10月末までの申込みは4年生まで優先で受付)	・9月15日号の広報あじょうに掲載 ・10月受付 (詳細は、各民間クラブ(表2)へ問い合わせして下さい)
特 色	・小学校内にある施設が多く、授業後の移動が少ない ・校庭など学校の施設で遊べる ・指導員の数が多い	・食事や手作りおやつなど定期的に提供する施設もある ・送迎や塾などの行き来に柔軟に対応できる ・長期休暇中は遠足などの行事あり ・少人数で支援員の目がよく行き届く ・祝日に利用可能(一部のクラブは不可)



表2：安城市の民間児童クラブ

クラブ名	所在地	電話番号	主な小学校区
学童保育なかよしクラブ	昭和町3-26	74-3664	中部・新田小学校
ひまわりクラブ	御幸本町11-17	74-4400	錦町・桜町小学校
学童保育みつばちぶんぶん	住吉町2-3-35	98-7702	作野・今池小学校
安城つくしクラブ	緑町1-12-12	76-7567	二本木・梨の里小学校
池浦児童クラブ	池浦町池東15-1	72-3333	新田・中部小学校

児童クラブに携わって10年、つくしクラブは5年目です。子どもたちと正面から関わりたいという気持ちで、毎日楽しく元気に活動しています。児童クラブは生活の延長線上にあると考え、保護者とともに協力しあい運営しています。

民間児童クラブでは支援員の人数が少ないため、支援員資格取得のための研修に参加するのが厳しいですね。



安城つくしクラブ
支援員 吉田祐一さん

取材を終えて

安城市で最初の民間児童クラブができてから法制化されるまでに約20年、市内の全小学校に開設されるまでには約30年もかかっていることに驚きました。

現在は、公立、民間ともに希望者を全て受け入れています。男女共同参画や女性の活躍推進の視点から、利用者が増加した場合でも、児童クラブの待機児童を出さないために、より良い環境を整えていくことが必要であると強く感じました。

●「さんかく21・安城」とは●

男女共同参画社会の実現をめざす市民グループのネットワークの会です。

(平成29年1月1日現在グループ一覧・順不同)

安城市更生保護女性会／安城国際交流友の会
安城市健康づくり食生活改善協議会／安城市消費生活学校
安城商工会議所女性会／グリーンそう／特定非営利活動法人 ing
国際交流安城はなのき会／新日本婦人の会安城支部
NPO 法人安城まちの学校／愛知県農村生活アドバイザー（安城地区）
安希の会／ボランティアネット北明治の会／やなぎ会安城支部
刈谷・知立・安城おやこ劇場／NPO 法人育て上げネット中部虹の会
NPO 法人えんご会／NPO 法人チャンネル Daichi
社会福祉法人ぬくもり福祉会ぬくもりの家／安城ジャズクラブ
個人会員 24名

編集 後記

平成28年度の情報誌は「つながる」をテーマに取り組んできました。読んだ人が一歩踏み出せるようにと多岐に渡る内容で、取材・編集をしてきました。記事を読み、その中の1つでも「今」を変えるきっかけにいただければ嬉しいです。

24号編集委員

石原春代・荻野留美子・加藤幸市・神谷美砂・戸田こず恵・中根敬子・前田未子・松田貴子・森島敬子・山崎嘉代子

企画・編集：さんかく21・安城 発行：安城市

問い合わせ 安城市市民生活部市民協働課

〒446-8501 愛知県安城市桜町18-23

TEL (0566) 71-2218 (ダイヤルイン) FAX (0566) 72-3741